

社団法人

# 長崎青年協会会報

12月号

## NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION



社団法人  
長崎青年協会憲章

我々は会員の団結と

相互扶助の精神の基に

自己の建設と

会員の親睦を図り

もって地域社会の発展に

寄与する事を目的とする



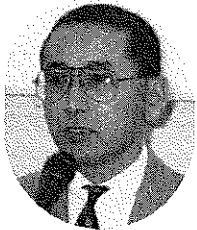
もちつき大会 (女の都老友荘にて)

# 11月臨時総会

日時：平成元年11月21日  
場所：ホテルニュー長崎

## 会長挨拶

会長 野上 林八郎



皆様こんばんは。ここ数日急に冷え込んでまいりまして、雲仙では霧水が付き、本格的な寒さを迎えるようになりました。又、師走をまじかにひかえまして、何かと多忙な季節に入ってまいりました。さて青年協会事業におきましては、11月3日文化の日清掃ということで事業委員会、地域活性委員会又、会員の皆様非常にお疲れさまでした。本年度は高田知事をはじめ、本島市長そして一般市民約1,700名の参加がありました。いい形で旅博をピーアールすることも出来ましたし、又青年協会の知名度アップにも繋がっただろうと思います。当日、参加していただいた市民の方におくばりいたしましたサンバイザー、さらに約2,000食のチャンポン麺のプレゼントと各企業に協賛していただき、特に長崎生麺組合の方には、非常にご協力いただきました。

又、昼から行なわれましたソフトボール大会、広いグラウンドで多数の会員の出席でのびのびと皆様プレー出来たのではないかと思います。

前半の事業におきましては、会員皆様のご協力によりまして非常に素晴らしい中身の濃い形で終了させていただきましたが、非常に残念なことは新入会員皆様の出席が悪かったということで、青年協会に入会された以上は、是非各事業に参加していただき、協会活動に早く打ち解けていただきたいと思っております。本日は、臨時総会となっております。皆様に「補正予算承認の件」「次年度会長選挙の件」でご審議していただくわけです。皆様の慎重審議のうえ、決定して載きたいと思っております。

## 平成元年度 臨時総会報告

### 総会成立宣言

出席 56名 委任状 12名

総数 68名 総会成立

1. 議長 江頭 保信君
1. 議事録作成人 松尾 浩君
1. 議事録署名人 大平和男君、新ヶ江憲和君

### 議事

第1号議案 平成元年度 補正予算承認の件

第2号議案 次年度会長選出の件

第1号議案につきましては、総務委員長の浜本勝馬君より説明がなされ、総会出席者全員の一致を似て承認議決されました。

第2号議案につきましては、選挙管理委員長の岡崎武彦君より経過説明がなされ、候補者田代

博昭君、推薦人の劉 濟才君よりそれぞれの挨拶がありました。投票説明のあと信任投票がなされ開票の結果、投票64名中、信任62票をもちまして次年度会長が決定致しました。以上をもちまして臨時総会の議事を無事終了致しました。



投票風景



## 推薦人挨拶

劉 濟 才

いよいよ、来年は長崎旅博覧会の年を迎えるにあたりまして、本年度に続き青年協会といたしましても協力して行きたいと思っています。次年度も大変多忙な一年になると思います。

そこで、私は次年度会長に、行動力があり、誠実な「田代博昭君」をご推薦致します。

彼は昭和55年に当協会に入会されまして、会員開発委員長、財務委員長、例会委員長、又昨年は会員担当副会長をされております。本年度は'89推進理事ということで、理事経験としては申し分のない持主だと思います。だからこそ、青年協会の良い所も悪い所も理解した上で、協会をリードしていくのではないかと思います。ここで彼の入会されましての青年協会に残された、足跡を紹介致します。会員開発委員長の時には、現在のような多数の入会の体制の基盤を作られました。財務委員会の時代には、現在理事会に提出されています資産表を作成されました。

そういった事の他、私が強調して言いたいのは彼が協会に入会されて、さまざまな事がございましたが、その時いつも回りには協会の皆様でいっぱいだったということです。そういう彼だからこそ、青年協会のことを心より愛し続け、今後そうであるでしょう。青年協会のことを親身になって考えていくものだと思います。だからこそここで次年度会長に田代博昭君を推薦致します。



## 次年度会長としての抱負

田 代 博 昭

平成元年、長崎青年協会21年度においても、野上会長のもと、会員皆様が役割責任をもって活動してきたことで地域社会の発展に寄与するという目的を着実に果たしてきております。

このような伝統ある長崎青年協会次年度会長として、私自身経験や資質また環境など、いずれも未熟ではありますが、入会して10年において先輩方より教えられ継承されている青年協会の精神「情熱」「挑戦」「対話」を改めためみつめ直した時、次年度会長という重責にチャレンジしよう、この機会によってさらに学び、自分自身も変えようというおもいで立候補致しました。

私は、去年から今年にかけて、くunchi根拠として参加することができました。青年協会の仲間6名といっしょに15年ぶりに出場する銅座町において、いろんな体験や経験をしたわけですが、青年協会において学んだことがどんなに役に立ったかということをご各自感じていると思います。それぞれのポジションにおいてのリーダーシップ、仲間を助け合う気持、それに無事成功させようという姿勢でした。

私は、この機会により皆様方もそれぞれの職場や、自治会、PTA、サークル等において活躍されている回りの方々から信頼と理解を得、青年協会活動とは別に地域での核となる機会があるとおもっております。

私達の活動は、地道に進めて発展していく息の長いものではないでしょうか。それをささえるものは変わらぬ情熱を持ち続けること、青年協会は情熱を培う場、存在ではないかとおもっております。

皆様のご協力ご支援によって次年度もより発展することができれば、私自身よりいっそう努力いたしますのでよろしく申し上げます。

## 委員会報告

### ＜総務委員会＞

追加シールの第2回を12月に発送致します。

### ＜会員開発委員会＞

来年度、2月に新人研修を行ないます。対象者は昭和62年度4月以後に入会された方です。現在その方々が約60%います。改めて青年協会のみな

おしをはかりたいと思います。

### ＜事業委員会＞

文化の日清掃、ご協力ありがとうございました。

### ＜事務局＞

旅博の前売チケットの回収口がもう過ぎております。未だの方は至急入金をお願いします。

## 青年協会恒例もちつき大会

去る12月3日(日)青年協会恒例のもちつき大会が、女の都「老友荘」にて盛大に行なわれました。今年、過去最高の120kgをつきあげるということで、意欲満々。朝早くからベッタンベッタンと額に汗しながら頑張りました。中には5～6回登場される会員もおおり、「もう手の動かかん」と悲鳴をあげていました。



さすがにベテラン会員の腰つきは素晴らしく、新人もそれを見習い、除々にではありますが何とか「もちつき」の格好にはなっていました。つきあがったもちは、さっそく、待機中のおばあちゃん達、あるいは会員の奥様、子供達の手によって要領よく、まるめられていきました。

天候にも恵まれ、何か師走という気がしない感じでありましたが、何はともあれ最後のうすをつきあげた後、ゆとりもちとブタ汁等を御馳走になりました。



チピッ子たちも頑張りました。



今回は、川口君の協力で「やきいも」をほおばりながら、和気あいあいとした雰囲気でもちをつき、また、おばあちゃん達とカラオケを楽しみました。その際井上君がひときわ活躍されておりました。



おもちをまるめるおばあちゃんたちと熱演中の井上君

つきあがったもちは、マリア園、浦上養育院、明星園の、各施設に、プレゼントし、大変喜んで頂きました。また各会員にも配られました。

早朝より、準備等にご苦労された、事業委員会の皆様、また参加された皆様大変お疲れ様でした。

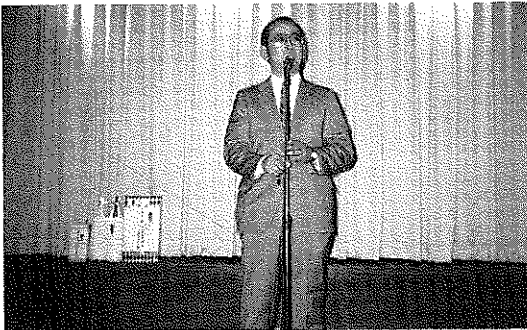


## 忘年懇親会盛大に開催

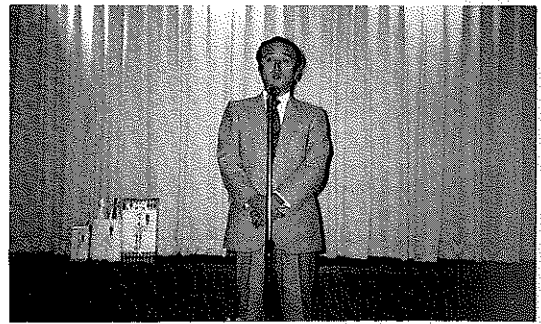
去る12月3日、松亭に於いて恒例の忘年会が盛大に行なわれました。今年は例年よりも暖かったようでコートを着て会場に入られた方は少なかったようでした。定刻を少々過ぎ本年度の忘年会が岩満君の司会でいよいよ開催です。野上会長挨拶の後、三浦勝太OB会長による出席されたOBの方一人ひとりの紹介。及び在籍中の思い出話や現会員への要望など熱っぽく話されました。特に最近入会された方は、早く先輩の顔や名前を覚えようとする輝いた眼が印象的でした。その後12月の誕生者をお祝いし、江村直前会長による乾杯の音頭で、宴も盛りあがりました。その後、会話ははずんでいくうちに、恒例の委員会対抗かくし芸大会へと移っていきました。本年度の出し物は次の通りです。交流「シルエットロマンス」、会員開発「冬のメイクアップ講座」、企画「プライダルファッションショー」、広報「旅博モッコリダンシングチーム」、例会「世紀のスーパーマジック」、国際

「黄色いサクランボ」、事業「龍神まつり」、総務「何がブスだよ人生は」、地域活性「竹芸」(出演順)審査の結果、優勝は地域活性の「竹芸」。渡辺委員長は、「練習の時に竹が折れてしまい当日竹を作るのに大変苦労しました。」との事です。準優勝は事業の「龍神まつり」。森委員長は、「3回程練習をし今年に賭けてました。」との事でした。審査員の方に感想を伺った所「今年は例年よりも点数が接近して審査も非常に難しい」と皆さん一致していました。その後、川添先輩、中尾先輩がステージに立たれ、よろこびの取り方や、ペーロンでの場の盛りあげ方など細くご指導下さいました。最後に田代次年度会長が来年の抱負を切実に語り、万才三唱の後、今年の忘年会もお開きとなりました。その後も長崎の歓楽街では我々青年協会の笑い声や歌声が所狭しと夜遅くまで響いていたそうです。

皆さん今年1年お疲れ様でした。



会長あいさつ



三浦OB 会会長あいさつ



三浦OBによる新入会員紹介



中尾OBによるペーロンルール説明

## 『ちょっとした座談会』

出席者 広報委員会 平山、池田、吉田、田川、田中  
場所 田中宅

平山：「まず今年入会した吉田君と田中君から事業等に参加して素直に感じたことなどをどうぞ。」

吉田：「自分の仕事の都合で参加できないことがあるがイベントで1日参加できる人もいれば1時間しか参加できない人もいます。1時間でも2時間でも参加することが大事と思う。」

平山：「要するにいかにして自分で時間を作って参加しようとする姿勢が問題だと思うけど。」

田川：「それに関連したことですけれども、おくんち広場を初めてしたとき、ある会員がこれなくなって朝1番に江戸町公園をそうじして帰ったそうです。そういうふうな形で参加することも意義があると思います。」

平山：「見ている人は見ているし、また見ていなくても自分自身納得できればその人にとっては参加したことになるのではないだろうか。」  
「次にこの前から言っている青年協会の縦のつながりですけれどもどう思う。」

田中：「この前例会の時に黄さんがおっしゃったですけれども、やはり先輩からさそってもらえないとどうしてもこちらからはさそいくにくいと思う。年も上だしやはり最初は気軽にさそってもらった方が次からはさそいやすくなると思う。」

平山：「そうね、やはり各委員長等がいっしょに行って新人をフォローしないとダメですね。それと横のつながりはすぐできるけど、反面、もろいところもあるのでは、しかし縦のつながりは、より強固なものとなるのではないかな。」

田中：「話は変わるけれども、事業があまり多くないかと思っています。あまり事業が多いと会員の集まりが悪くなるし、集中力がなくな

ると思う。それよりも何か1つに減らした方が集まりがよくなると思う。それに事業が多いと会員の負担も増えるので減らした方がいいと思う。」

「そして各委員会の副委員長がもう少し理事会の内容を分かっていた方がいいと思う。」

田中：「そう、やはり委員長と副委員長があまりなあなあにならないで同じレベルのことは分っていた方がいいと思う。」

平山：「そろそろまとめますけど、やはり縦のつながりをもつことを新人は大事であると思っても何々出来ない部分があることは分かりました。今はそういう時代なんでしょうね。またイベントについては的をしばったらいんじゃないかなということですね。」

かなり内容的なことはカットしてありますが直接話して分かり合ったものは大きかったと思います。今回は広報委員会だけの座談会でしたがもう少し輪を上げたものにしていきたいと思っています。またこの内容についてご意見等ございましたら「ご意見箱」に入れて下さい。

## 編集後記

ようやく12月号の編集も終え「ホッ」としていています。それも束の間、新春号の発行に向けて、委員会一同、てんてこまいです。年が明けたら、みんな温泉にでも行こうかと計画中です。

今年1年、何とか乗り切ったというのが実感ですが、来年は、卒業される方に青年協会を振り返って頂き、原稿を依頼したいと思いますし、また、何か企画したいと考えています。それでは皆様、よいお年をお迎え下さい。